



安全にお住まいいただくために



お部屋の中には、使い方を誤ると、やけど・転倒・手や指を挟む・閉じ込めなどの事故や、火災、漏水などの被害を引き起こすものがあります。どこにどのような危険があるかを知って、これらの事故、被害を防ぎましょう。

※ここに示す間取りはサンプルです。ご自身のおすまいについて、本書を参考にご確認ください。

「火」と「水」「お子様の事故」に注意ですね。



火災・感電・やけどに注意



水の事故（乳幼児の転落、漏水）に注意



乳幼児の事故、いたずらなどに注意



湿気（結露・カビ）対策をしましょう ⇒P.29

浴室・洗面室・トイレ

- お湯張り中は出かけない
- 水栓金具（蛇口）を触るときは気を付けて
- 照明器具にタオルなどをかけない
- 浴槽、洗濯機など、水・湯が張ってある場所に乳幼児を近づけない
- 洗濯機の給排水ホースは正しく接続する



キッチン

- 火気使用／加熱中は目を離さない
※IHクッキングヒーターでも危険です。
- 調理時以外はコンロの上に物を置かない
- コンロ使用時は換気扇を回す
※火災警報器の誤作動防止のため、蒸し料理、酒・みりんを使った料理をする際は特に注意。
- 冷蔵庫は壁から少し離して配置する



家具

- 水槽、ペットボトル、眼鏡、ガラス玉、ボールなど、凹凸が光を集める物は直射日光の当たらない場所に置く ※外出時にはカーテンも閉めておきましょう。
- 家具の配置は低重心に（転倒防止）
- 就寝時の頭付近には家具を配置しない（転倒時への備え）
- 壁から少し離して配置する（湿気、色移り防止）



扉・窓（玄関・各室）

- 乳幼児のトイレ・浴室内閉じ込め（内側からのロック）に注意
※ロックされた場合の開錠方法はP.60をご参照ください。
- 乳幼児を室内に残してバルコニーに出るときは、締め出しに注意
- 足掛かりになるような物を、開口部付近に置かない
- 開き扉を開放するときは、ドアストッパー、フックで固定する
- 扉は、周囲の人に衝突しないよう確認してから、静かに開閉する



分電盤

- 警報装置、24時間換気システム作動のため、長期不在のときもブレーカーは落とさない

扉・窓

- 積極的に窓を開け、換気する
※特に入居直後や新しい家具の購入直後は要注意。
- 24時間換気システムがある場合は、常にONにする
- 換気扇作動時は窓または換気スリーブ（給気口）を開ける



電気器具（家具・照明・コンセントなど）

- タコ足配線をしない
- ぬれた手で触らない
- コードを画びょうで留めたりしない
- 電源コードを抜くときはプラグを持って抜く
- 湿気が多い場所で使用する電気器具にはアースを付ける（洗濯／乾燥機、エアコン、食洗機、電子レンジなど）
- 照明器具は許容ワット数のものを使用する
- 電球の交換、各機器のメンテナンスは電源を切ってから作業する



住宅設備機器取り扱いのポイント

- 特に注意が必要なことについては、設備本体にも、注意ラベルが貼ってあります。各設備をご使用になる際に、確認してください。
- 備え付けの設備の取扱説明書はご入居時に住戸に設置しています。各設備をご使用になる前に、ご一読ください。

※取扱説明書はご退室時にはご返却をお願いします。大切に保管してください。紛失した際は、作成費用をお客様にご負担いただきます。

